

第54回札幌矯正管区教誨師研修大会

研修事業評価委員会（自己評価Ⅰ）議事録

1 日時

平成30年6月8日（金）午前11時30分から午後零時20分まで

2 場所

ANAクラウンプラザホテル 2階「いしかり・たるまえの間」
（〒066-8637 北海道千歳市北栄2丁目2番1号）

3 出席者

（1）事業者

札幌矯正管区教誨師連盟会長	小 澤 眞 了
札幌矯正管区教誨師連盟事務局長	天 野 広 輝
千歳教誨師会会長（大会委員長）	阿 部 正 信
網走刑務所教誨師会会長	梶 原 睦 尚
月形刑務所教誨師会会長	相 河 孔 明

（2）外部関係者

札幌矯正管区成人矯正第二課長	齋 藤 政 之
札幌矯正管区成人矯正第二課事務官	永 田 喜 寛
札幌矯正管区成人矯正第二課研修員	額 田 真 生
北海少年院統括専門官（企画調整担当）	佐々木 善 生
北海少年院専門官	土 屋 希世子
紫明女子学院統括専門官（企画調整・教務担当）	東 華 代 子
紫明女子学院専門官	森 敦 子
網走刑務所上席統括矯正処遇官（教育担当）	大 坂 悟
月形刑務所統括矯正処遇官（教育担当）	井 上 正 彦
月形刑務所教育専門官	松 本 悠 佑

4 議事内容

（1）事前準備について

ア 本研修大会を担当した千歳教誨師会を中心に、大会事務局及び管区連盟事務局において、大会運営に係る調整を十分に重ねたことから、特段支障を生じることはなかった。

イ 大会会場をはじめ、大会事務局とホテル側で十分に調整し、来賓者等の控室を大会会場から近い位置に変更したほか、大会当日に、各会場を明記したホテル内の案内図を作成して配布するなど、円滑な大会運営を図るため、十分な配慮がなされていた。

(2) 大会当日について

ア 大会初日の式典で執り行う各種表彰について、開催時間30分前に被表彰者を集めてリハーサルを実施したこともあり、被表彰者が戸惑うことなく表彰を執り行うことができた。

イ 臨床心理士吉村氏の記念講演では、少年院で実施しているマインドfulness（瞑想により自身の精神状態に深く意識を向ける心的技法）指導について、関心を抱く参加者が多く、教誨活動に対する影響を与える講演内容であり、非常に好評であった。

ウ 2日目の研究発表では、発表後の質疑応答において、参加者から発表内容に係る積極的な質疑があり、例年に比べて活発な意見交換がなされたと感じられた。

エ 研修大会参加者数について、各施設教誨師会において、積極的に大会への参加を促したこともあり、昨年度と比較し、約20名程度増加したものの、当管区連盟に所属する全教誨師数の半分程度の出席率であることから、今後においても参加者数の増加を図ることが課題である。

また、アンケートには、開催地の固定（札幌）や小グループによる討議形式の導入など、研修実施体制の変更により、参加者の増加を図る意見もあり、今後、検討する必要があると感じられた。

(3) 事後処理について

各種経理事務及び大会記録誌の製作について、引き続き、大会事務局及び管区連盟事務局で連携し、適正な事務処理を遂行する。

(4) アンケート概要

別添参照